

(様式-2)

継承・看板建築

-ファサード保存の二元論を解除する-

明治大学 理工学部建築学科
寺澤 宏亮



設計主旨 concept

本設計は、地方都市の商店街の看板建築に、丸の内などでされているファサード保存の手法を適用する実験的な試みである。装飾された看板建築の立面は街の記憶として保存され、そのすぐ裏では建物の更新が個別で繰り替えされる。街は複層的な奥行きをつくりながらモノとしての時間を履歴していく。そんな情景を描くためのケーススタディを6つ行った。01と02では既存の立面の保存と裏手の改築、03～06では街の立面の欠損部に立面と新たな用途を新築した。これらの試みは、丸の内などで相反するものとして扱われてきた建築の「保存」と「更新」という二項が、ひとつの街や建築の中に同居していくような継承設計のリアルな姿を示す。